

農業ひろさき

2018年8月1日 (第150号)
(平成30年8月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



「農業ひろさき」

第150号発刊に寄せて

弘前市長 櫻田 宏



「農業ひろさき」第150号発刊おめでとうございます。
農業委員会の皆様のごこれまでのご努力に対し、心から敬意を表します。

「農業ひろさき」は、平成18年の新弘前市誕生を契機に、改めて第1号から発行され、農家の毎月の貴重な情報源として活用されて参りました。

当市の平成28年産の農業産出額は435億円で、東北第1位、全国第10位となっており、中でも、果実の産出額は369億円で全国第1位となっております。特に、りんご産業は経済のみならず、文化・観光面においても重要な役割を果たしているなど、農業は当市にとって基幹的な産業となっております。しかし、近年は、人口減少に伴う農業者の減少や高齢化、労働力不足や国際化の進展など、これまで経験したことのない変化が課題として顕在化しております。

このような状況に対応するためには、農家と行政の密接な連携と、そのための的確で迅速な情報提供が大切であり、「農業ひろさき」においては今後とも、農家の期待に応えるような紙面の充実を念願するものであります。

この記念号を契機に、各位にはますますご研鑽を積まれるとともに、農業委員会の限りないご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

「農業ひろさき」

第150号発刊にあたって

弘前市農業委員会
会長 成田 繁則



弘前市農業委員会発行の「農業ひろさき」は、このたび第150号発刊の喜びを迎えることとなりました。

新弘前市として誕生した平成18年3月号を第1号として発刊して以来、農家の皆様と行政の架け橋として、様々な情報を提供する広報紙として毎月1回の発刊を続けて参りました。

これもひとえに農家の皆様のご理解の賜物であり深く感謝申し上げます。

農業を取り巻く環境は、農業後継者や担い手不足、高齢化による労働力不足など厳しい状況にあります。

このような中、平成28年4月には農業委員会の制度改正があり、新体制での農業委員会が充足し「農業委員」と、新設された「農地利用最適化推進委員」が連携し、担い手への農地利用の集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など農地等の利用の最適化の推進に向けて積極的に活動を展開しています。

農業委員会は、主たる使命を果たせるよう様々な活動を行っていますが、広報による情報提供も重要な活動の一つであり、今後も充実した紙面づくりを心がけて参りますので、農業委員会の各業務にご理解とご協力をお願い申し上げます。あいつとさせていただきます。

農業委員会「総会」開催

市農業委員会(成田繁則会長)は6月25日、農業委員会総会を市内のホテルで開催し、所有権移転及び使用収益権設定の許可のほか、次の要望事項2件について審議し、いずれも原案のとおり可決されました。



①りんご病害虫被害の抑止に関する要望

(内容：病害虫被害のまん延抑止に向けた事業の拡充と、法的措置も視野に関係機関が一体となった対応の強化を図るとともに、農業者への周知徹底すること。)

②農業用貨物自動車の車検期間伸長に関する要望

(内容：使用環境が十勝管内と類似している、収穫期以外の利用がほとんどない積雪地域の農業者貨物自動車について、十勝管内の1市18町村と同様、車検期間を伸長すること。)

なお、2件の要望事項は、今後、実現に向けて関係機関に働きかけていきます。

りんご黒星病対策 県へ要望書提出

6月27日市農業委員会は、県に対しりんご黒星病対策に関する要望書を提出しました。

成田会長ほか運営委員3名が中南地域県民局を訪れ、佐藤地域農林水産部長に要望書を手渡しました。



要望書を手渡す
成田会長(右)

－要望内容－

- ①りんご黒星病に対し有効性の高い薬剤の早期開発を国に対し働きかけること。
- ②有効かつ効率的な新たな防除体系を速やかに構築するよう関係機関に働きかけること。

農地の利用状況調査実施中!

7月3日、市農業委員会は「農地利用状況調査」出発式を裾野地区体育文化交流センターで行いました。

調査初日の出発式には、農業委員と農地利用最適化推進委員、農地活用支援隊員ら60人が参加し、成田繁則会長のあいさつに続いて、櫻田宏市長から参加者に激励の言葉がありました。農業委員の鳴海忠三郎委員が「農地の適正な活用に向けて、農地利用状況調査に出発します」と出発宣言をした後、重点地区の裾野地区をはじめ各地区での農地利用状況の調査に向かいました。



参加した委員らを激励する櫻田市長(左)

調査のため、農業委員・農地利用最適化推進委員などが農地内に立ち入ることがあります。
ご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ先

農業委員会農地係(市役所前川本館3階)
☎40-7104
または農業委員、農地利用最適化推進委員まで



調査をする成田会長(右)と農地活用支援隊員(中央)



成田会長に出発宣言をする鳴海委員(右)

農地活用支援隊へ委嘱状交付

市農業委員会は、農業委員及び農地利用最適化推進委員から推薦を受けた市内の農業者150名に農地活用支援隊員を委嘱しました。

～連携地区研修会開催～

6月22日に相馬地区で行われた連携地区研修会では、成田会長が出席し、「地域の農地は地域が守るを理念に今後一層、地域の情報が共有されることで農地の有効利用が図られるものと期待している」とあいさつをしました。



委嘱状の交付を受ける支援隊員(右)

農地活用支援隊員は、今後3年間にわたり地域において、農業委員及び農地利用最適化推進委員と協力して耕作

放棄地の発生防止と農地の有効活用を図るための活動を行います。また、市農業委員会は、農地活用支援隊の委嘱と同時に連携地区研修会を市内12か所で開催しました。

研修会では、農業委員、農地利用最適化推進委員及び農地活用支援隊員が、今年度の農地利用状況調査についての説明を受け、適正な調査実施に向け調査図面などを確認していました。



研修会の様子
清水地区(上)
相馬地区(左)

弘前市青年交流会

～農家と出会うFruits&BBQ～

果物狩りやバーベキューパーティーを出会いのきっかけに楽しく、交流しながら親交を深めましょう!

- ◆日時 8月26日(日) 午前10時～午後4時
(市立観光館バスプール出発・解散)
※貸切バス移動、雨天決行
- ◆内容 森の中の果樹園(十面沢)で旬の果物狩りを体験した後、星と森のロマンピア(水木在家)でバーベキューを楽しみながら交流パーティーを行います。
- ◆対象 おおむね25歳から50歳までの独身男女
(男性は弘前市内在住で独身農業者)
- ◆定員 男女各12人
- ◆参加料 男性4,500円/女性2,500円
- ◆申込締切 8月17日(金)
- 問い合わせ・申込先 弘前市青年交流会実行委員会事務局(農業委員会農政係)
☎40-7104



家族経営協定 調印式

農業経営の方針や家族一人ひとりの役割、休日の取り方などについて家族で話し合って取り決める「家族経営協定」の調印式が、6月7日に弘前市役所で行われました。

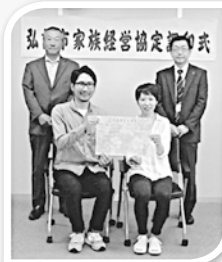
今回の調印式で協定を結んだのは、三上慎太郎さん恵子さん夫妻で、目指す農業経営の実現に向かって取り組むことを誓いました。

今回の締結により本市での協定締結家族は142組となりました。

家族経営協定は、家族の話し合いから始まるので、経営改善や女性農業者の地位確立などにつながります。

また、認定農業者制度の共同申請や農業者年金の加入にあたり保険料の国庫助成、制度資金の活用などのメリットがあります。詳しく知りたい方は、下記へお問い合わせください。

- 問い合わせ先 農業委員会農政係(市役所前川本館3階)
☎40-7104



農地の受け手・出し手募集中! 詳しくは農業政策課まで

弘前市農作業省力化・効率化緊急対策事業費補助金【新規事業】

市では、当市農業の未来を担う農業者の一層の経営発展を促進することを目的として、農業者が農作業の省力化・効率化を図るために行う、新たな農業機械の導入やほ場の一部コンクリート化にかかる経費の一部を支援いたします。

◆補助対象者

経営改善・発展に向けて計画的に取り組む農業者など（認定農業者、認定新規就農者、人・農地プランに位置づけられている中心経営体、農業共済・収入保険制度加入者など）

◆支援事業

事業名 内 容	(1) 農業機械導入支援事業	(2) 集出荷環境整備支援事業
対 象 経 費	農業経営に要する機械の導入にかかる経費	荷さばき場や進入路などの整備にかかるほ場の一部コンクリート化に必要な経費
補 助 金 の 額	導入経費の1/3（上限50万円）	施工費の1/3（上限18万円）
そ の 他	汎用性の高い機械は対象外となります。 例）トラック、パソコン、除排雪に要する機械（付属品を含む）など	施工規模によっては、事業着手前に農地の用途変更などにかかる手続きが必要となります。

◆申込締切 8月10日（金）

※窓口で内容を確認するなどご相談を受け付けたくて、申し込みしていただきますのでお早めにお越しください。

◆その他 応募者多数の場合は抽選となりますが、平成27～29年度に国・県の機械補助を受けたことがない方を優先します。

■問い合わせ・申込先 農業政策課（市役所前川本館3階）

・支援事業（1）について → 農業振興係 ☎40-0767

・支援事業（2）について → 計画推進係 ☎40-0656



平成31年度（青森県野菜等産地強化支援事業）／（弘前市ミニトマト生産振興事業）

市では、平成31年度に下記事業での活用を希望する方の要望調査を行います。希望される方はご相談ください。

事業名	青森県野菜等産地強化支援事業	弘前市ミニトマト生産振興事業
内 容	野菜など産地の所得向上と産地力の強化を図るため、省力化機械・設備の導入やパイプハウスの設置を支援します。	ミニトマトの生産を目的としたパイプハウスの設置を支援しています。
対 象 者	認定農業者、認定新規就農者など ※パイプハウスの導入に関しては、新たに施設栽培に取り組む生産者であり、その栽培面積が3㎡以上であること。	認定農業者、認定新規就農者など
対 象 品 目	夏秋トマト、夏秋キュウリ、夏秋ピーマン、キク、トルコギキョウなど	ミニトマト
補 助 率	1/4以内 ※パイプハウスの導入に関しては、5,100円/㎡を補助対象経費の上限とする。	1/4以内 ※4,300円/㎡を補助対象経費の上限とする。
申 込 締 切	8月31日（金）	8月31日（金）

※掲載内容は、平成30年度事業のもので、今後変更になる場合もあります。

■問い合わせ・申込先 農業政策課農産係（市役所前川本館3階） ☎40-7102

「農地中間管理事業」
農地の集約化・規模拡大を支援します！

「まさか自分が!」となる前に 健診を受けましょう

まだまだ元気と思っ
ていても、わずかな体調の変化や疲労の蓄積に自分で気づくことは難しいものです。

国保年金課では、国民健康保険に加入している 40 歳以上の人には国保特定健診、国保人間ドック・脳ドックを、後期高齢者医療制度に加入している人には後期高齢者の健診、歯科健診を実施中です。

健診の結果、万が一病気が見つかったても、早期の段階であれば快復も早く、さらに健康寿命を延ばすことができます。

これからの農繁期に向けて、予期せぬ「まさか」を防ぐために、健診を受けましょう。

健 診 名	対 象	料 金	実施期間
国 保 特 定 健 診 ・ 後 期 高 齢 者 の 健 診	国民健康保険に加入している 40 歳以上の人または後期高齢者医療制度に加入している人	無 料 (健診には約 1 万円の費用がかかりますが、受診券を使用することで年度内 1 回に限り、無料で受診できます)	5 月 1 日～平成 31 年 3 月 15 日
国 保 人 間 ド ッ ク	次のいずれにも該当する人 ○国民健康保険に加入している 40 歳以上の人	4,000 円 (年度内 1 回。国保特定健診が含まれ、同時受診となります。また、検診内容や年齢により自己負担額が増減することがあります)	
国 保 脳 ド ッ ク	○国民健康保険料の滞納が無い世帯の人	5,000 円 (年度内 1 回。国保特定健診または国保人間ドックとは別に受診できます)	4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
後 期 高 齢 者 の 歯 科 健 診	後期高齢者医療制度に加入している人	無 料 (年度内 1 回。受診券はありませんので、被保険者証を持参してください)	5 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
■ 問 い 合 せ 先	【国保特定健診・国保人間ドック・国保脳ドック】 国保年金課国保運営係 ☎ 3 5 - 1 1 1 6 【後期高齢者の健診・後期高齢者の歯科健診】 国保年金課後期高齢者医療係 ☎ 4 0 - 7 0 4 6		



「初心者向け」りんご研修会を開催 (葉とり&玉まわし) 未経験者大歓迎!!

市では、りんご作業アルバイトなどに携わりたい方の研修会を開催します。りんご作業未経験者から、栽培技術の基本を学んでみたいという初心者の方まで、どなたでも大歓迎です。

- ◆日時 8 月 25 日 (土) 午前 10 時～ 11 時 30 分
 - ◆場所 市りんご公園 (清水富田字寺沢) <駐車場に集合>
 - ◆内容 初心者向けりんごの葉とり、玉まわし作業 (実技研修、作業 DVD の視聴)
 - ◆講師 青森県りんご協会職員
 - ◆対象者 市内在住のりんごの作業に関心のある方、市で就農を希望する方。
 - ◆定員 約 20 人
 - ◆参加料 無料
 - ◆申込締切 8 月 22 日 (水) までに、電話でお申し込みを。
 - ◆持ち物 飲み物、汗拭きタオル、雨合羽 (雨天時)
- ※雨天決行。(荒天の場合は、翌週 9 月 1 日 (土) に順延。)
- 問い合わせ・申込先 公益財団法人 青森県りんご協会 ☎ 2 7 - 6 0 0 6



農地流動化情報

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	846	前坂字赤井 345	田	休耕	0.78a	交渉次第	貸借も可
貸したい	844	百沢字東岩木山 2861-3	田	休耕	9.27a	10a 当たり 4,200 円	
	845	百沢字東岩木山 1-17	畑	休耕	68.32a	10a 当たり 4,200 円	
	848	兼平字林元林添 162-16 外 4 筆	畑	休耕	68.70a	10a 当たり 1,000 円～	
	849	乳井字和山 28	畑	休耕	23.76a	10a 当たり 4,200 円	
	850	乳井字沢田 75-65	畑	休耕	27.15a	10a 当たり 4,200 円	
	851	乳井字平山 61-1	畑	休耕	24.88a	10a 当たり 4,200 円	
	853	平山字坂市沢 293-98	畑	休耕	28.26a	10a 当たり 4,200 円	

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。

■取扱窓口及び問い合わせ先

- ①農業委員会農地係 (市役所前川本館 3 階) ☎ 4 0 - 7 1 0 4
- ②農業委員会岩木分室 (岩木庁舎 1 階) ☎ 8 2 - 3 1 1 1 内線 6 1 1
- ③農業委員会相馬分室 (相馬庁舎 1 階) ☎ 8 4 - 2 1 1 1 内線 8 0 5

青森県産業技術センター
農林総合研究所・りんご研究所参観デー

◆日時 9 月 5 日 (水) 午前 9 時～午後 4 時
9 月 6 日 (木) 午前 9 時～午後 3 時

◆場所 【農林総合研究所】(黒石市田中 82-9)

◆内容 研究成果の展示・紹介、成果発表会、試験圃場の案内、相談コーナー、お米や野菜の試食販売、花の販売、最先端省力化農業機械展示・実演会など。

■問い合わせ先 ☎ 5 2 - 4 3 9 6



◆場所 【りんご研究所】(黒石市牡丹平字福民 24)

◆内容 研究成果の展示・資料販売、相談コーナー、試験圃場の公開、りんご講演会、りんごの試食販売、りんご史料館の開放など。

■問い合わせ先 ☎ 5 2 - 2 3 3 1